



2021年5月14日

各位

会社名 日本精鉱株式会社
 代表者名 代表取締役社長 渡邊 理史
 (コード番号 5729 東証第2部)
 問合せ先 常務取締役企画管理部長 若林 武則
 (TEL 03-3235-0021)

業績予想と実績との差異及び関係会社出資金評価損（個別）の計上に関するお知らせ

2021年2月5日に公表しました2021年3月期の通期業績予想と本日公表の決算において差異が生じました。また、特別損失として関係会社出資金評価損（個別）を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異

(1)2021年3月期通期連結業績予想との差異（2020年4月1日~2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,300	970	960	660	270.44
実績(B)	11,247	1,194	1,207	813	333.40
増減額(B-A)	△52	224	247	153	—
増減率(%)	△0.5	23.2	25.8	23.3	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期通期)	10,913	448	433	286	117.25

(2)2021年3月期通期個別業績予想との差異（2020年4月1日~2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	70	260	200	81.95
実績(B)	4,446	101	310	214	88.00
増減額(B-A)	△553	31	50	14	—
増減率(%)	△11.1	45.6	19.4	7.4	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期通期)	5,378	132	316	272	111.74

(3)差異が生じた理由

売上高につきましては、電子部品及び自動車部品向けは堅調に推移しましたが、繊維産業や建築関連資材分野などの需要は回復に至らず、予想を下回りました。

一方、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、生産性の向上やコスト削減などに努め、それぞれ予想を上回ることとなりました。

2. 関係会社出資金評価損（個別）の計上について

新型コロナウイルス感染症や米中貿易摩擦などの影響で、中国市場においてアンチモン製品の需要が低迷し、価格競争が激化いたしました。このため、当社の連結子会社である日鎚精礦（上海）商貿有限公司（中国）に対する関係会社出資金について、実質価額が著しく低下したことから、2021年3月期の当社個別決算において関係会社出資金評価損 51 百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、当該関係会社出資金評価損は連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以上